

兵庫医科大学内部質保証の方針及び手続

兵庫医科大学（以下「本学」という。）は、建学の精神の下に本学の目的を達成することを目指して、自らの責任において本学の教育等が適切な水準にあることを説明又は証明し、恒常的且つ継続的に質の保証を推進するために、以下のとおり内部質保証の方針及び手続を定める。

【兵庫医科大学内部質保証の方針】

1. 目的

本学は、建学の精神「社会の福祉への奉仕」「人間への深い愛」「人間への幅の広い科学的理解」の下に、本学の目的及び使命を達成するため、教育研究、管理運営等の諸活動の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を改善につなげる PDCA サイクルを恒常的かつ継続的に実施し、本学の諸活動の質保証及び向上を図る。また、自己点検・評価結果及び外部評価結果について社会に公表する。

2. 全学及び学部等での内部質保証推進の実施体制

- ① 全学の内部質保証の統括責任者は学長とし、内部質保証に責任を負う組織として、『兵庫医科大学内部質保証会議』（以下「内部質保証会議」という。）を設置する。
- ② 内部質保証会議は、全学の自己点検・評価体制の企画・立案・調整及び実施、学部・研究科その他組織（以下「学部等」という。）の自己点検・評価の統括について、全学的な観点から質保証に関する検討を行い、恒常的・継続的に質の保証及び向上に取り組む。
- ③ 内部質保証会議は、学部等に対して、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシーに基づき展開する教育活動について、PDCA サイクルに基づく評価結果を全学的な観点から審議を行い、必要に応じて改善に向けた指示、支援等の役割を担う。
- ④ 内部質保証会議は、教学マネジメント体制による PDCA サイクルの機能や、内部質保証システムの妥当性及び有効性を検証するために、認証評価機関が定める評価基準・項目及び本学の年度目標や重点課題・実施項目に基づいて、恒常的かつ継続的に全学的観点による自己点検・評価を行う。
- ⑤ 学部等の内部質保証の責任者は学部長・研究科長及びその他組織の長とし、学部・研究科においては『自己点検・評価委員会』を設置し、当該委員会が建学の精神、目的、3つのポリシー、その他方針等に照らし、IR の分析結果等の客観的エビデンスに基づく

自己点検・評価を定期的実施し、その結果を内部質保証会議に報告する。内部質保証会議で審議した評価結果・改善指示は学部等にフィードバックされ、今後の取組、計画等に反映させることで質の向上を図る。

3. 外部の評価

社会に対する説明責任を果たすため、主に学外の有識者で構成する『兵庫医科大学内部質保証評価会議』（以下「内部質保証評価会議」という。）を設置する。内部質保証評価会議は、内部質保証会議の情報や社会環境の変化、社会や行政等からの要請を踏まえ、大学の教育研究活動及び大学運営等に関して評価を行い、自己点検・評価結果の客観性及び妥当性を高める。

4. FD・SD への取組み

教育プログラムの改善並びに教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、全学的組織として『兵庫医科大学 FD・SD 推進室』（以下「FD・SD 推進室」という。）を設置する。FD・SD 推進室は、全学・各学部・研究科が、組織的に FD 及び SD を計画・実施することを推進し、教職員の能力・資質の向上とともに、恒常的な内部質保証の意識の浸透を図る。

5. IR 室との連携

内部質保証会議は、自己点検・評価の客観性、妥当性を確保し、エビデンスを重視した評価を実施するため、教育研究活動等に関わる情報の収集・蓄積及び分析に関し、全学的組織として設置する『兵庫医科大学 IR 室』との密なる連携を図る。

【兵庫医科大学内部質保証に関する手続】

- ① 各学部・研究科における自己点検・評価結果は、学部教授会又は研究科教授会において意見を聴いた後、内部質保証会議に提出・報告する。
- ② 各学部・研究科の下に設置された各委員会等が実施した自己点検・評価は、各学部長・研究科長が各学部・研究科における自己点検・評価に反映させる。
- ③ 内部質保証会議は、学部・研究科から提出・報告された自己点検・評価結果を基に、全学的観点に基づく自己点検・評価を行う。内部質保証会議は、大学としての自己点検・評価報告書を作成し、その内容を大学運営会議に報告し、ホームページ等において公表する。
- ④ 内部質保証評価会議は、内部質保証会議が取りまとめた報告・情報等を基に、大学の教育研究活動、大学運営等に関して評価を行い、内部質保証会議に報告する。
- ⑤ 本学は、大学認証評価機関による認証評価を受審した場合、その結果をホームページ等において公表する。また、各学部にあつては、分野別認証評価等を受審した場合、その評価結果も同様に公表する

2023年5月